

令和4年度佐渡ジオパーク推進協議会臨時総会議事録

- 1 日時 令和5年3月28日(火) 9:00～10:15
- 2 場所 アミューズメント佐渡 はまなすホール
- 3 出席委員
- | | | |
|------|------------------------------|-----------|
| 顧問 | 佐藤久雄(新潟県議会議員) | |
| | 中川隆一(新潟県議会議員) | |
| | 渡邊剛忠(有識者) | |
| 会長 | 渡辺竜五(市長) | |
| 副会長 | 新発田靖(教育長) | |
| | 大鳥範和(新潟大学理学部長) | 【オンライン参加】 |
| | 安東宏徳(新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所長) | |
| | 永田尚志(新潟大学佐渡自然共生科学センター長) | |
| (代理) | 木村富美雄(佐渡連合商工会) | |
| | 祝雅之(佐渡観光交流機構専務理事) | |
| | 松倉聡(JA羽茂常務理事) | |
| | 村山優樹(新潟交通佐渡㈱代表取締役社長) | |
| (代理) | 本間裕幸(佐渡汽船㈱) | |
| | 松岡篤(有識者) | 【オンライン参加】 |
| | 清水康博(有識者) | 【オンライン参加】 |
| | 中川清太郎(有識者) | |
| (代理) | 本間満(佐渡ジオパークガイド協会) | |
| (代理) | 中川哲昌(佐渡を世界遺産にする会) | |
| | 大石惣一郎(佐渡棚田協議会会長) | |
| | 笠井貴弘(佐渡市企画財政部総合政策課長) | |
| | 中川裕二(佐渡市観光振興部観光振興課長) | |
| | 正治敏(佐渡市観光振興部世界遺産推進課長) | |
| | 鶴間基宏(佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター長) | |
- 4 欠席委員
- | | | |
|--------|----------------------------|-----|
| アドバイザー | 澤栗浩明(環境省佐渡自然保護官事務所首席自然保護官) | |
| 副会長 | 鶴巻勝(新潟県佐渡地域振興局長) | |
| 会員 | 堅野信(JA佐渡代表理事理事長) | 委任状 |
| | 市橋弘之(佐渡トレッキング協議会事務局長) | 委任状 |
| | 中道康夫(佐渡山岳会会長) | 委任状 |
| | 寺尾和弥(佐渡漁業協同組合代表理事組合長) | 委任状 |
| | 中川良明(佐渡森林組合代表理事組合長) | |
| | 本間東三夫(佐渡観光旅館連盟会長) | 委任状 |
| | 有本幸蔵(佐渡青年会議所理事長) | 委任状 |

5 事務局

市橋秀紀（事務局長）
伊藤智子
大塚靖人
山本裕士
関根吉則
貞包健良
相田満久
磯部伸浩

6 審議結果・質疑

議 事

（１）令和５年度 事業計画（案）について

結果：承認

（２）令和５年度 予算（案）について

結果：承認

（３）佐渡ジオパーク日本認定 10 周年記念事業実行委員会 組織編制図（案）について

結果：承認

（議事内容要約／質疑応答）

1 渡辺会長あいさつ

2 総会成立の報告

会員数 28 名、出席者数 20 名、委任状提出 6 名、合計 26 名

過半数に達しているので、協議会設置要綱第 12 条第 4 項の規定により総会成立。

3 議事

（１）議案第 1 号 令和５年度 事業計画（案）（資料No.1－1、1－2、1－3）

日本ジオパーク委員会からの 9 つの指摘事項に対する、アクションプランにおける取組及びその他のジオパーク推進に関する取組について、令和 2～4 年度の実績と、令和 5 年度の事業計画（案）を配布資料により説明。

「ジオサイトの整理と再設定」については、文化サイト・エコサイトの整理、重要なジオサイトの保全活用の検討の他、コロナの影響で開催できなかった地域説明会を開催し、地域の方々に地元の魅力への理解を深め、保全等につなげていきたい。

「ジオツーリズムの充実とマーケティング分析に関すること」については、ジオパークの見どころ等に島外からより多く訪れていただけるような仕掛けづくりやモデルコースづくりをしていきたい。特に教育旅行に今後も力を入れ、学ぶ要素を含んだツアーの充実に努めたい。また、佐渡観光交流機構と連携しながらマーケティングや効果的な周知、誘客を図っていきたい。

「拠点施設の再整備と系統的な情報発信の実施」について、3 つの拠点施設での展示を充実させ、ジオパークをより知ってもらえる取組を進めたい。特に佐渡博物館の展示を一部展示替えし、子どもの興味を抱かせる学習展示の充実を図る。また、他の

ジオパークの情報発信も行う。

「3事業の実質的な効果の創出」について、ジオパークは3事業を包括し、佐渡を丸ごと楽しめるような事業を実施していきたい。

「鉱物販売に関する理念の周知」については、販売業者との話し合いを継続する他、JGNの地質標本ワーキンググループに専門員が参加し、日本ジオパークネットワークとしての活動を進めていく。

「保護・保全活動」については、地域説明会の充実の他、ジオパークフォーラムを引き続き開催し、佐渡に研究の対象となる素晴らしい素材がたくさんあり、魅力があることを佐渡市民に周知する取組をしていきたい。

「ストーリーの再構築」について、今まで作成してきたオリジナル映像や「よくわかる佐渡ジオパーク」の本と合わせて、各世代にあった副読本を作成し、幼児から大人までが佐渡ジオパークを学べるような態勢を整えていきたい。

その他のジオパーク推進事業としては、令和5年度は再認定審査の年であるため、総会等を4回程度開催したい。

また、新たに中学生以上の学生を募集して、佐渡ジオパーククラブを開催する。

再認定審査の日程、10周年記念事業の日程及び記念誌作成についても説明した。

【質疑応答】

○委員：世界農業遺産との連携について、小学校の勉強会や農家民泊を使った修学旅行で、ジオパークのガイドは来るが、世界農業遺産にも声をかけて欲しい。また、棚田の管理に対する助成の考えはあるか。

○事務局：ジオパークは世界農業遺産も包括しており、ジオパークガイドが世界農業遺産に係る部分も説明している。また、棚田への助成は考えていないが、ジオサイトの管理や地域の草刈りなどの委託料は若干の予算がある。

○会長：佐渡の自然って楽しいな、という所からお客様の視点に立って、何を提案したら楽しいでもらえるかをDMOやガイドの皆さまも含めて意見交換していきたい。

○顧問：JGCからの9つの指摘事項は、どれくらいクリアできているのか。

○事務局長：ほとんどがクリアしている。再認定審査までに残りもクリアできる。

○会長：3資産の連携は簡単なことではない。しかし、指摘事項についてはここまで進んでいるので、問題ないと認識している。

○委員：さどまる倶楽部の会員制度の属性を分析できるシステムを改修する予定。ターゲットやアプローチ方法を明確にできるようになっていく。また、インバウンドの対応として、SDGsの取組が大切になってくる。佐渡は海岸ゴミの問題が深刻で、海外からはその点の評価が低い。ジオパークでもゴミ拾いなどの取組が必要。

○会長：インバウンド対応として、佐渡に来て何が楽しかったか、何を感じたかの意見を聞きたい。今後、リピーターや長期滞在につなげていきたい。

○委員：地域の人にジオパークを認識してもらい、興味を持ってもらうことが大事。海岸ゴミの問題に取組む意見にも賛成。

(2) 議案第2号 令和5年度 予算(案)(資料No.2)

収入・支出の予算額はそれぞれ16,717千円。

【質疑応答】 特になし。

- (3) 議案第3号 佐渡ジオパーク10周年記念事業実行委員会 組織体制図(案)
(資料No.3)

送迎・宿泊の業務を、観光振興部長の部署へ移行。それに伴い、担当課・関係団体・業務も移行して組織体制を変更。

実行部門を「総務・広報部」「式典・講演会部」「祝賀会・芸能部」「送迎・宿泊・ツアー部」の4つとする。

【質疑応答】 特になし

4 その他

- (1) 佐渡ジオパーク日本認定10周年記念事業(案)について

臨時総会後に行う「佐渡ジオパーク日本認定10周年記念事業 第3回実行委員会」に諮る事業(案)について説明し、意見を聴取した。

【質疑応答】 特になし

閉会